



「各務原市の蘇原自然公園の梅」 撮影 | 星野宏

優良法人の現場で「ふくし」を学ぶ

福祉の事業所見学会開催

平成30年2月28日[水]、COC+参加大学共通プログラム「福祉の事業所見学会」を実施しました。今回は、岐阜市内の社会福祉法人高佳会と社会福祉法人いぶき福祉会の2事業所を訪問しました。前半は歴史ある川原町に佇む高佳会の生活密着型高齢者福祉拠点「粹いき・金華の元気館」で、施設の見学と法人の理念を学びました。目の前の方が大切にしている「もの・こと・考え方」を共に大切にする姿勢から、法人が目指している「本物の福祉」を感じることができました。午後からは、いぶき福祉会の障がい者支援施設「第二いぶき」です。職員も

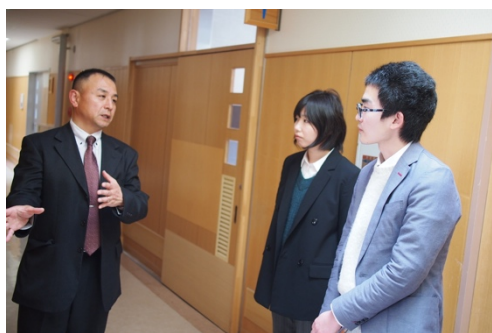
利用者も共に働く「なかま」。その中に学生たちも一緒に加わり、仕事を体験しました。一つひとつ育てられてきたブランドに携わることで、「どんな障がいがあっても働いて社会で役割を果たし、生き活きと暮らしてほしい」という法人の想いを直接感じることができました。今回の見学会では、現場の仕事だけではなく、理念や方針に沿った法人の運営についても学ぶことができました。当日の詳細はCOC+通信Webでご覧いただけます。



【COC+通信Web】



事業所取材企画、伊自良苑訪問



今回の取材は社会福祉法人同朋会が運営する岐阜県山県市の自閉症援助施設「伊自良苑」です。平成12年に全館自閉症者施設へリニューアルされ、県内の自閉症療育、生活支援の拠点としての役割を

担っています。施設内を見学しながら、利用者が地域の中で生活できるように力をつけるための取り組みについて伺いました。現場では職員も利用者も隔てなく一緒に生活し、それぞれが得意なことを理解し補い合い働いている姿があちこちで見られました。「全てがうまくいくわけではないが、どんな困難なときでも互いに『ひと』だからこそ大変さを共に感じ乗り越えていける」という林施設長の言葉を、インタビュアーの学生二人は真剣に聞き入っていました。見学の後は、現場で働く鈴木副主任と笠井副主任へのインタビュー。働く職員の様子や、これ

までの経験、仕事のやりがいについて詳しくお話を伺いました。事業所の取材は今後も続きます。関心がある方はgifuinfo@ml.n-fukushi.ac.jpまでご連絡ください。



2019年卒就職活動本格化

将来について向き合う



平成30年3月1日[水]に2019年卒の会社説明会が解禁され、就職活動が本格的に始まりました。ここ数年は、インターンシップが盛んになっているため、学生の皆さんからすると、すでに活動は始まっていたのかもしれませんが。今年も例年にも増して企業も学生も動きが早い傾向を感じます。特に岐阜県は、有効求人倍率が全国で上位5位以内に入る[2017年12月実績]など人材不足が深刻化していることから、採用側は早く学生に会いたいという動きが見られます。これまでたくさんの学生や働く社会人の方と接する中で、これから就職活動に取り組む学生の皆さんに考えて欲しいことが3つあります。1つ目は「今の自分が何を軸にして最初の仕事を決めるか」です。働く場所なのか、仕事の内容なのか、住む地域なのか、休日の日数なのか。

そして、なぜそれが自分の軸なのかを考えてみましょう。軸に良し悪しや、正解はありません。「自分」が何を軸にしているのか、理由までしっかり考えることで、就職活動が進めやすくなります。ただ、『仕事をする』ことが大前提であることは忘れてはなりません。2つ目は、「自分の目で見えて判断する」こと。親や友人、ネットから情報を得ることは大切ですが、あくまでも相手の主観が入っていることを忘れてはいけません。人はそれぞれ 価値観が違うため、他人が言う良い会社が自分にとって良い会社であるとは限りません。その逆も同じです。必ず自分の目で職場を見て、自分がどう感じるのかを大切にしましょう。最後に、「自分も社会や組織の構成要員であるという当事者意識を持つ」ことです。会社に雇ってもらい働くという受け身の姿勢ではなく、自分自身もその会社を作っていく一員になるのだという主体的な意識を持ちましょう。社会人はツバメの子のように、口を開けて餌を待つ存在でいると、全く楽しくありません。このような意識では、会社や上司に対して「してくれない」不満を抱きやすくなります。「やらされ感」と「やっている感」どちらを持って働いていきたいでしょうか。

将来や仕事については、一人でじっくり考えることも大切ですが、周りにいる人たちともたくさん話をしてみましょう。周りとの違いを感じることで、自分が何を大切にしているのか、自分はどのようにしていきたいのかが見えてくる場合があります。その一つとして、岐阜相談コーナーもご利用ください。就業支援コーディネーターが、みなさんがより良い仕事と出会い、充実した生活をおくれるように、お手伝いいたします。

[就業支援コーディネーター星野]

学内合同説明会へ行こう！

平成30年3月14日[水]～20日[火]まで、美浜キャンパスと東海キャンパスで学内企業説明会が開催され、岐阜県からは15事業所の事業所が参加します。さらに15日は岐阜県社会福祉協議会による、福祉人材登録会も会場[美浜キャンパス]で実施します。学内企業説明会での事業所の担当者や本学の卒業生OB・OGと直接話し接点をつくることは、就職活動を進めていく上で重要な機会です。参加事業所と日程を確認して会場へ！



【岐阜事業所一覧】

岐阜県な人



『杉岡真帆さん』
社会福祉学部
1年生
揖斐郡池田町出身

Q地元の魅力は？

「山に囲まれていて温泉もあるところです。近くに道の駅もあり、友人とよく行っています。また、夏には水郷祭りがあります。地元の小学生がたくさんの灯籠を作って、揖斐川に流します。夜になると花火も上がり、とても綺麗です。地域の盆踊りも行われ、小さい頃からずっと参加しています。」

Q大学生活はどうですか？

「池田町の実家から2時間以上

かけて通っているのですが、大変な時もありますが、充実しています。ずっと祖母が好きで、マッサージをしてあげたり、話をしたり、高齢者と関わることが私のやりがいでした。高校の時には、自分で地元の高齢者施設に頼んで仕事の体験もさせてもらったほどです。大学では、もっと他の分野も見てみたいと思い、11月に行われた飛騨慈光会の見学会や、今回行われた福祉の事業所見学会に参加しています。新しいこと知れるの

はとても楽しいです。」

Q将来の夢は？

「学んでいる福祉の分野には絶対に行きたいです。そのために、もっと福祉について知りたいし、学べる環境が大学にはあると思います。これからはいろんな人と話して、聞いて施設もたくさん見て将来について考えていきます。」



＜東海キャンパス＞キャリア指導室内
火・水・木曜日 10：00～18：00
[キャンパス閉鎖期間除く]

電話：0562-39-3811
担当：就業支援コーディネーター：星野

＜美浜キャンパス＞全学教育センター内
月～金曜日 9：30～17：30
[キャンパス閉鎖期間除く]

電話：0569-87-2321
担当：就業支援コーディネーター：小西

岐阜での就職に関する情報が満載

『岐阜キャリア相談コーナー』